



ふるさと笠松の「ちょっといい話」131号



今年も「トンボ天国クリーン大作戦」を実施！ →多くの方の力で、とてもきれいになりました。

平成29年7月9日(日)に、トンボ天国東側一帯で「トンボ天国クリーン大作戦」が実施されました。

トンボ天国は、岐阜県でも有数の自然にできたビオトープであり、笠松町の大切な自然の財産です。この自然環境の維持と、町民の美しいまち作りに対する意識高揚を目的として「トンボ天国クリーン大作戦」が始められ、今年度で6回目を迎えました。

午前7時50分の「はじめの会」には、国土交通省や笠松町の職員を始め、道徳のまち笠松推進会議・トンボ池を守る会・下羽栗地区町内会の方々、下羽栗小PTA、地元企業、小学生を含む一般ボランティアなど、多くの人が集まりました。今回は、岐阜工業高等学校生徒の皆さんも多数参加し、総勢は過去最高の約250人となりました。活動が地道に目的に向かって進んでいるものと実感しています。

午前8時にスタートした環境整備作業は、曇り空の蒸し暑い天候の下、約1時間程の時間、各個人が持参した道具を有効に活用しながら、自ら進んで行動し、背丈ほどの雑草や竹の伐採はもちろんのこと、竹の回収、ゴミ拾いも徹底して行われました。おかげで、またたく間に見晴らしがよくなり、池周辺の下草が育つ環境が整いました。これにより、池への土の流れ込みが減り、池に棲む生物の環境が改善され、多くのトンボが飛び交う「トンボ天国」になることでしょう。

ご参加くださった多くの皆さん、ありがとうございました。来年は、さらに多くの方の参加をお待ちしています。



はじめの会



草を刈る



草や竹を刈る



切った竹を運ぶ



ゴミを拾う



ねぎらいの会

取材を終えて・・・大勢の力が合わせられたときのパワーの凄まじさを実感しました。わずか1時間足らずの活動で、こんなに整備が進むとは思っていませんでした。ボランティアの心のパワーだと思います。このパワーをいろいろな所で活かせるといいですね。